

<取材のお願い>

2022年12月9日

JST さくらサイエンスプログラム推進本部

**JST さくらサイエンス・ハイスクールプログラム による招へい
本年度の最終グループ
アジア、島嶼国の優秀な高校生 17名が来日
(マレーシア、パプアニューギニア、モンゴル、台湾、バングラデシュ)**

科学技術振興機構(JST)では、海外の優秀な高校生(および引率者)を1週間日本に招き、JSTが特別に企画した交流プログラムに参加していただく「さくらサイエンス・ハイスクールプログラム(SSHP)」を主催しています。日本の一流の科学者による特別授業への参加、著名大学や研究施設の訪問、日本の高校生との交流、日本の文化体験などを通して、来日した高校生が日本の科学技術への関心を高め、日本の大学・研究機関や企業が必要とする海外の優秀な人材に成長することで、グローバルな科学技術の発展に貢献することが目的です。

12月11日(日)~12月17日(土)には、本年度の最終グループ(第5グループ)として、マレーシア、パプアニューギニア、モンゴル、台湾、バングラデシュの高校生17名と引率者10名、計27名が来日します。来日する高校生は、各国政府機関により選抜された優秀な学生たちです。

今回、特に注目していただきたい内容は下記になります。

【12月14日(水)】東京都立立川高等学校(立川市)を訪問

同校2年生とともに理科の実験(地学:大気圧と断熱圧縮・雲をつくる、物理実験:音の性質—手作り楽器の演奏—)を行ったり、1年生とともに「Global Warming Solution vs Economic Growth」というテーマで英語によるディベートを行ったりするなどの授業体験の他、茶道部や天文気象部の日頃の活動にも参加して、交流を深めます。

さらに、午後からは、**2015年ノーベル物理学賞受賞の梶田隆章博士による講演**を、同校の生徒たちとともに聴講する特別プログラムも設定いたしました。

海外の高校生のみならず、日本の高校生にとっても海外留学へのモチベーションを刺激するなど、特別な体験となることが期待できます。

【12月15日(木)】中央大学多摩キャンパスを訪問

中央大学で学ぶ留学生と日本人学生により企画された、キャンパスツアーに参加します。大学の紹介や、キャンパス内の施設巡り、座談会、書道体験などをおして、中央大学でのキャンパスライフをイメージしてもらいます。

つきましてはご多忙中とは存じますが、海外の高校生が立川高校の生徒と交流をする様子、梶田博士の講演に耳を傾ける様子、中央大学多摩キャンパスにて留学生らと交流をする様子取材して頂きたくお願い申し上げます。なお、参加者や引率者への個別インタビュー取材もご相談により対応可能です。ご希望の方は担当者までご連絡ください。

＊「国際青少年サイエンス 交流事業（さくらサイエンスプログラム）」

科学技術分野における日本と海外の青少年の国際交流を推進する、国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）の事業です。



<https://ssp.jst.go.jp/>

■本件に関する取材申し込み・お問い合わせ先

JST さくらサイエンスプログラム推進本部企画運営室